



SERVICE INFO



ダイレクトリリースシリンダー 510 0011 11 の取付説明書

メーカー： フォード、マツダ

型式：

フォード： Courier、Fiesta IV、Ka、
Focus、Puma

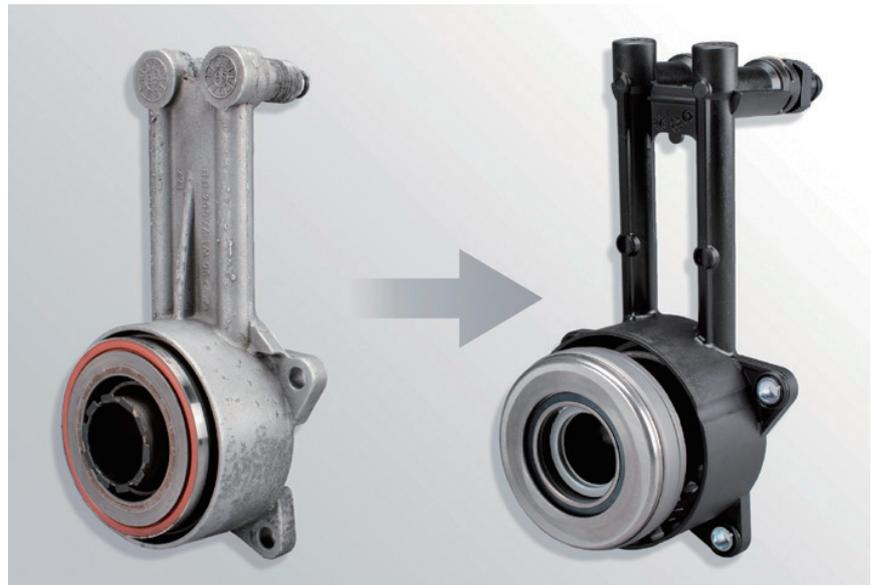
マツダ： 121 III

エンジン： 1.25 16V、1.3、1.4、1.4
16V、1.6 16V、
1.7 16V、1.8 16V、
2.0 16V、1.8D、1.8Di

部品番号：

旧：510 0011 10 (金属)

新：510 0011 11 (プラスチック)



画像 1：金属からプラスチック仕様への交換

製品を改善する継続的な取り組みの一環として、品目番号 510 0011 10 のダイレクトリリースシリンダーのハウジングが金属からプラスチックに変更されました。

それに伴い、新しい仕様の品目番号が 510 0011 11 に変更され、識別のためにハウジングに記載されています。

切替期間は、金属製またはプラスチック製ハウジング付きダイレクトリリースシリンダーが提供されます。

また、自動車メーカーもこの材料の変更を実施しています。

一部のフォード製ギアボックスでは、トランスミッションベルハウジングの穴からダイレクトリリースシリンダーを取り付けることができない場合があります。この場合、段付きまたはコニカルドリルビットを使用して穴を広げる必要があります。

影響を受ける自動車を正確に識別できないため、修理作業時に穴の直径を確認してください (画像 2)。

穴の直径が 21mm 未満の場合は、21mm または最大 24mm に拡大する必要があります。2 ページ目の説明 (画像 3 ~ 8) に作業手順を示します。

この手順は、自動車メーカーの仕様に準拠しています。



画像 2：直径が 21mm 未満の場合は 21mm 以上、最大 24mm に拡大

注意：

仕様は異なるものの、どちらのダイレクトリリースシリンダーもカタログに記載されている自動車で制限なしに使用できます。



FAG



SCHAEFFLER

REP>XPERT



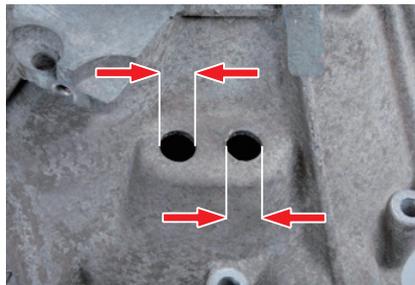
SERVICE INFO



ダイレクトリリースシリンダー 510 0011 11 の取付説明書



画像 3 : 古い仕様の取り外し

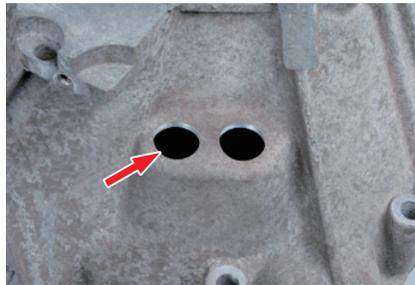


画像 4 : 直径の確認

古いダイレクトリリースシリンダー（金属仕様）を取り外し、穴の直径を測定します。
測定した直径が 21mm 未満の場合は、両方の穴を広げる必要があります。

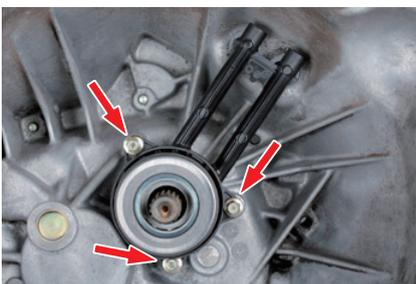


画像 5 : 穴の拡大



画像 6 : バリ取りおよびクリーニング

段付きまたはコンカルドリルビットを使用して、両方の穴を 21mm 以上、最大 24mm に拡大します。
その後、慎重に穴の内部および外部のバリを取り除き、トランスミッションベルハウジングをきれいにします



画像 7 : 新しい CSC の取り付け



画像 8 : ブリードニップルは手またはスパナ（SW 13）で作動可能

新しいダイレクトリリースシリンダーを取り付け、10 (+1) Nm で締め付けます。
（ギアボックスの取り付け後に）クラッチを抽気する際は、ブリードニップルは手またはスパナ（13mm）で簡単に 180° 開閉できます。
開閉位置になると、カチッという音がします。